

(修士課程)

論文審査員名簿

コース主任氏名

入学年度	年度	申請学位 (専攻分野)	修士 ()
学籍番号	M		
学位申請者氏名		系・コース	
論文題目			
コース担当教員会議 開催年月日	令和 年 月 日		
論文審査員 (3名以上 進学者は 5名以上)		氏名	職名
	主査		
	審査員		
	〃		
	〃		
	〃		
	〃		
	〃		
令和 年 月 日			
学院長 殿			
指導教員			

指導教員			

(注1) 論文審査員は学外審査員を除いて3名以上(博士後期課程進学者は5名以上)を選定してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)

論文審査及び最終試験の結果

コース主任氏名

学位申請者氏名		学籍番号	M
申請学位 (専攻分野)	修士 ()	系・コース	
論文題目			
成績	論文審査及び最終試験		

令和 年 月 日

学院長 殿

審査員主査

審査員

〃

〃

〃

〃

論文発表会	月 日	論文審査	月 日 から
最終試験	月 日		月 日 まで

(注1) 論文審査及び最終試験の成績は、「合格」「不合格」の評語で記入してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)
Master's Program

令和 年 月 日

Date (yymmdd)

教務課 御中
To the Student Division

審査員主査:

Chief Examiner

修士論文要旨の提出について

SUBMISSION OF MASTER'S THESIS SUMMARY

このことについて、修士の学位授与が可とされた下記の学生の修士論文要旨1通を、別紙のとおり提出します。

I hereby submit a copy of the Master's Thesis Summary of the student below who has been approved for conferment of a Master's Degree.

記

系・コース:

Department of, Graduate major in

系
コース

学籍番号:

Student ID Number

M

学生氏名:

Student's Name

備考

note

上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

The above thesis includes the result of research on a specific theme noted in clause 3, article 34 of the Institute Regulations.

For Students of the Integrated Doctoral Education Program Only.

(学生用の様式と同じものをご参考までに再掲しております)

短縮修了関係書類について

下記の短縮修了関係書類のうち、該当するものを提出してください。

記

- ・ 大学院学則第34条第1項ただし書き適用に関する説明書・理由書
(特に優れた業績を上げた場合の短縮修了)
- ・ 大学院学則第34条第4項適用に関する説明書・理由書
(既修得単位認定により単位修得に要した期間その他を勘案して、当該修士課程に在学したものとみなした場合の短縮修了)

○東京工業大学大学院学則 (抜粋)

(修士課程修了の要件)

第34条 修士課程修了の要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項に規定する単位数には、別に定める授業科目の単位数を含まなければならない。

3 第1項の場合において、学院が当該修士課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

4 第1項の規定にかかわらず、在学期間に関しては、前条の規定により修士課程に入学する前に修得した単位(学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を当該修士課程において修得したのものとして認定する場合であって、当該単位の修得により当該修士課程の教育課程の一部を履修したと教授会が認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で当該修士課程に在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、当該修士課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

5 本学と清華大学が共同して実施する大学院の合同プログラム教育を受ける修士課程の学生にあつては、第1項中「2年」とあるのは「2年6月」と読み替えて、同項の規定を適用する。

(修士課程)

大学院学則第34条第1項ただし書き適用に関する説明書

令和 年 月 日

系・コース：

系
コース

指導教員(主)：

学籍番号：

M

指導教員(副)：

学生氏名：

(注1) 短縮修了予定者の「学位申請書」に添付して提出してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)

大学院学則第34条第1項ただし書き適用に関する理由書

令和 年 月 日

系・コース：

系
コース

審査員主査：

学籍番号：

M

学生氏名：

(注1) 短縮修了予定者の「論文審査及び最終試験の結果」に添付して提出してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)

大学院学則第34条第4項適用に関する説明書

令和 年 月 日

系・コース： 系
コース

指導教員(主)：

学籍番号： M

指導教員(副)：

学生氏名：

(注1) 短縮修了予定者の「学位申請書」に添付して提出してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)

大学院学則第34条第4項適用に関する理由書

令和 年 月 日

系・コース：

系
コース

審査員主査：

学籍番号：

M

学生氏名：

(注1) 短縮修了予定者の「論文審査及び最終試験の結果」に添付して提出してください。

(注2) 上記の論文には、大学院学則第34条第3項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。

(修士課程)

留学の目的及びその成果が学位取得に寄与することの説明書

令和 年 月 日

系・コース： 系
コース

指導教員(主)：

学籍番号： M

指導教員(副)：

学生氏名：

※留学期間が通算して1年を超えている修了予定者の「学位申請書」に添付して提出してください。